

1	事業名称	タイニーキャンプ(低学年の自然体験)				
2	新規・継続	継続	5年目			
3	趣旨	小学校低学年の子どもたちが、親元を離れて共同生活や自然体験活動を行うことを通して、自分に自信をつけ、協調性を育むきっかけづくりとする。				
4	期日・期間	回数	開始日	～	終了日	期間
		1回	6月16日(土)	～	6月17日(日)	1泊2日
		2回	7月7日(土)	～	7月8日(日)	1泊2日
		3回	10月13日(土)	～	10月14日(日)	1泊2日
		4回	10月27日(土)	～	10月28日(日)	1泊2日
5回	平成25年2月9日(土)	～	2月10日(日)	1泊2日		
5	実施場所	国立信州高遠青少年自然の家				
6	募集人数	150人(各回30人)				
7	共催・協力・後援	内訳 1回・2回→小学2年生 3回～5回→小学1、2年生 後援 長野県教育委員会・山梨県教育委員会・愛知県教育委員会・伊那市教育委員会				
8	参加者人数	回数	人数			
		1回	47人			
		2回	46人			
		3回	39人			
		4回	45人			
5回	31人					
9	参加者類型	回数	人数	内訳		
		1回	47人	2年男子:25人、2年女子:22人		
		2回	46人	2年男子:20人、2年女子:26人		
		3回	39人	1年男子:10人、1年女子:8人、2年男子:19人、2年女子:2人		
		4回	45人	1年男子:14人、1年女子:7人、2年男子:18人、2年女子:6人		
5回	31人	1年男子:7人、1年女子:2人、2年男子:3人、2年女子:19人				
10	参加者地域	長野192人、山梨14人、東京1人、埼玉1人(総計208人)				
11	参加者分析	広報(チラシ配布)の関係で、長野県内及び山梨県北部の参加者が多いが、ホームページを見て、関東地方からの参加があった。				
12	アンケート満足度	満足 100%	やや満足 0%	やや不満 0%	不満 0%	
13	アンケートの主な記述	低学年のため、記述によるアンケートは行っていない。				
14	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・がんばりカードの活用 3つのめあて「あいさつしよう」「自分のことは自分でしよう」「みんなで協力しよう」について、各活動場面毎に「がんばりカード」を活用した。自分たちの活動を視覚的にふり返り、「がんばったらシールを貼る」ことで、次の活動への意欲化を図ることができた。 ・冬の活動 初めて冬期にキャンプを実施した。そり遊びやスノーキャンドル作り、もちつきをプログラムに位置づけたが、ボランティアとともに活動する時間が長く、子どもとのコミュニケーションをさらに図ることができた。 ・保護者への事後アンケート(実施1ヶ月後) 保護者が子どもを参加させる際、どのようなねらいを持っているかを把握するため、アンケートを行った。「親元を離れ、子どもどうして集団宿泊体験をさせたかった」「子ども自身がたくましくなると思ったから」という回答が多く、「体験を通じた自立」を望んでいることがうかがえた。これは、当機構が推進する「体験の風をおこそう運動」に合致するものと考えられる。 アンケートの自由記述には、「布団の準備・片付けや食事の準備など、家の手伝いをするようになった」などと書かれていて、このキャンプを通して自信をつけ、自主性を育むきっかけになったことが伺える。 ・公立施設への普及 本年度は新たに山梨県の1施設が本事業を行い、合計4つの施設(長野県2施設・山梨県2施設)で本事業を行った。さらに、視察に訪れた愛知県の1施設が、来年度本事業を行うことで準備を進めている。 				
15	今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・教育現場で課題となっている「発達障害」を持つ子どもの参加が増えている。事前に保護者との連携を密にして、細かい情報を得ると共に、職員とボランティアによるサポート体制の確立を図らなければならない。 また、状況によっては、保護者の理解を得て、参加を断ることもあり得る。 				
16	担当者メモ	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度、初めて冬期に実施した。夏季・秋期は「冒険の森」活動をしていたが、指導者と子どもだけのかかわりが多く、ボランティアと子どものかかわりが少なかった。しかし、冬期はそり遊びやスノーキャンドル作りをすることで、ボランティアと子どもがいっしょになって活動する時間が増え、ボランティアも満足していた。 また、すいとん作りは、包丁や火の扱いなど、子どもに任せられない場面があったが、「もちつき」にすることで、餅をつくところから餅を丸めて食べるまで、すべて子どもがボランティアとともに取り組み、双方とも満足する活動となった。 				

プログラム展開	日程・時間	プログラム	担当（講師等）	
開会式	1日目（土）			
	11:30~12:00	開会式	国立信州高遠青少年自然の家職員	
	12:00~13:00	昼食	国立信州高遠青少年自然の家職員 ボランティア	
	自然体験活動	13:20~16:40	「冒険の森」活動 ①コアラの木登り ②サルの川わたり ③森のくまさん ④ピョンピョンうさぎ ※雨天屋内体育館 ・ワニの川遊び ・ラッコの綱引き ・サルのロープ登り ・くまさん歩き ・ピョンピョンうさぎ	国立信州高遠青少年自然の家職員 松本短期大学研究生 ボランティア
		17:00~17:20	夕べの集い	国立信州高遠青少年自然の家職員
		17:20~18:30	夕食	国立信州高遠青少年自然の家職員 ボランティア
		18:30~19:30	入浴	国立信州高遠青少年自然の家職員 ボランティア
	読み聞かせ	19:30~20:00	絵本の読み聞かせ	ボランティア
		20:30	就寝	ボランティア
		2日目（日）		
野外料理	7:00~7:20	朝の集い	国立信州高遠青少年自然の家職員	
	7:20~8:00	朝食	国立信州高遠青少年自然の家職員 ボランティア	
	8:00~9:00	清掃・荷物整理	ボランティア	
	9:30~12:00	野外料理（すいとんづくり）	国立信州高遠青少年自然の家職員 ボランティア	
	12:30~13:00	ふりかえり	国立信州高遠青少年自然の家職員 ボランティア	
	閉会式	13:00~13:30	閉会式	国立信州高遠青少年自然の家職員

17



「がんばりカード」のシール貼り



「冒険の森」活動(くまさん歩き)



「自分で」シーツ敷き



絵本の読み聞かせ



協力して野外料理の準備



野外料理の「すいとん作り」

プログラム展開	日程・時間	プログラム	担当（講師等）	
開会式	1日目（土）			
	11:30～12:00	開会式	国立信州高遠青少年自然の家職員	
	12:00～13:00	昼食	国立信州高遠青少年自然の家職員 ボランティア	
	自然体験活動	13:20～15:00	そりすべり ・100mと120mコースを自由滑走 ・個人で滑走したり、キャンプの仲間やボランティアと滑走したりする。	国立信州高遠青少年自然の家職員 ボランティア
		15:30～16:15	スノーキャンドル作り ・スコップやスプーンで自由に雪像を作る。	
		16:40～17:00	夕べの集い	国立信州高遠青少年自然の家職員
	読み聞かせ	17:00～18:00	夕食	国立信州高遠青少年自然の家職員 ボランティア
		18:00～18:45	入浴	国立信州高遠青少年自然の家職員 ボランティア
		19:00～20:00 20:30	絵本の読み聞かせ 就寝	ボランティア ボランティア
		2日目（日）		
7:00～7:20		朝の集い	国立信州高遠青少年自然の家職員	
もちつき	7:20～8:00	朝食	国立信州高遠青少年自然の家職員 ボランティア	
	8:00～9:00	清掃・荷物整理	ボランティア	
	9:30～12:00	もちつき	国立信州高遠青少年自然の家職員 研修指導員 ボランティア	
	12:30～13:00	ふりかえり	国立信州高遠青少年自然の家職員 ボランティア	
	閉会式	13:00～13:30	閉会式	国立信州高遠青少年自然の家職員



そりすべり



スノーキャンドル作り



スノーキャンドル点火



もちつき



おもちを丸める



協力して、もちつきの片づけ